



学校教育目標：自ら学び、進んで行動し、互いを認め合う生徒の育成

西有田中学校だより

第 27 号 (2026.3.9)

文責：中尾 恵子

至誠一貫

卒業証書授与式式辞から一部抜粋

御卒業おめでとうございます

卒業証書授与式には、たくさんの御来賓の御臨席をいただき、盛大に挙行することができました。

現代はAIの台頭で、世の中は大きく変わつつあります。時代が大きく変化する過渡期で、その変化に振り回されるのではなく、この変化に乗じて自分の活路を切り開いていこうとするポジティブな考え方ができる時代でもあります。そこで、「卒業」という節目に当たり、皆さんに二つのお願いがあります。

一つ目は、「困難に打ち勝つ」です。皆さんの人生は、今までよりもこれからの方が遙かに長くなります。自分の力だけではどうにもならないと感じることもあるかと思います。しかし、夢を持ち、自ら努力を続けてほしいと思います。夢を叶えるためには、失敗を恐れずに挑戦し、小さな成功体験を積み重ねていくことが大切です。困難に立ち向かい、それを乗り越えることによって、たくましく成長してほしいと思います。

二つ目は、「感謝と思いやりの心を持ち続ける」です。人は自らの努力とともに、それを支え、励ましてくれる多くの人々の存在や環境を理解し、その「お陰」で頑張れるものです。喜びを分け合い、苦しいときには助け合う豊かな人間関係を構築していきましょう。その中で「人のためになる何かができる人になって」ください。

卒業生の一人一人が、御家族にとっては輝き続ける希望の光であり、地域や社会にとっては未来を担うたくましい力になることを願っています。

卒業生代表の答辞から一部抜粋

前生徒会長だった小森 啓史さんが堂々と読み上げました。

3年前の4月、少し大きめの制服で中学校生活を迎える喜びと緊張で胸がいっぱいでした。新しい生活と友だちとの関わりの中でたくさんとまどうこともありました。2年生になると学校生活にも慣れ、仲間と呼べる友だちが増えました。「先輩である」ことの自覚も芽生え、周りのことを考えることができるようになりました。3年生では最上級生として学校をまとめ、後輩を引っ張っていくことが増え、周りとの協力して多くの活動に一生懸命取り組みました。

5月の体育大会では、多くの壁にぶつかりました。当日の応援合戦では各分団が声を揃えて、今までにない一体感を感じ、切磋琢磨した最高の体育大会でした。優勝を目指して戦った中体連、金賞を目指して音に思いを乗せた吹奏楽コンクール。楽しみにしていた修学旅行。2泊3日で大阪・京都・兵庫を回りました。大阪・関西万博では、日本館の未来の技術に心を打たれました。宿で友だちと語り明かした2日間の楽しい時間は忘れられません。10月の学習発表会では実行委員として学校全体が楽しめるように知恵を出し、考え合いました。合唱コンクールは仲間と声と心を合わせて歌いきりました。これからの学校生活では思い通りにいかず、苦しさを感じることもありますが、その経験は必ず皆さんの力になります。仲間と励まし合い、努力を積み重ねた時間は困難に立ち向かう強さとなります。先輩方から受け継いだ西有田中学校の伝統をあなたたちに託します。西有田中学校で得た仲間との学び、誇りを胸に乗り越え、未来に向かって突き進むことを誓います。